

## 研究に関する情報公開

福島県立医科大学放射線医学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2021年11月 福島県立医科大学医学部放射線医学講座 伊藤 浩

【研究課題名】ヨード造影剤使用時の腹部 CT でみられる小腸浮腫の検討

【研究期間】

2021年11月～2025年10月

【研究の意義・目的】

CT 検査で現在用いられている非イオン性ヨード造影剤使用時に小腸に浮腫が観察されること報告されていますが、その正確な頻度はわかっていません。今回の研究では CT でヨード造影剤により小腸浮腫が見られる頻度と副作用と小腸浮腫の関連を検討いたします。また、ヨード造影剤の重篤な副作用であるアナフィラキシーショックを起こした症例の小腸浮腫の有無も検討いたします。CT で小腸浮腫をとらえることで早期の副作用への対応やヨード造影剤の副作用の病態解明に役立つ可能性があります

【研究の対象となる方】

- ・2016年1月から2021年8月の間に、福島県立医科大学附属病院において、CT 検査時に造影剤によるアナフィラキシーショックを起こした方
- ・2016年1月から2021年8月の間に、公立岩瀬病院で上腹部を含む造影前及び造影 CT 検査を受けた方および検査時に CT 造影剤によるアナフィラキシーショックを起こした方

【研究の方法】

上記対象者の診療情報や CT 画像を収集し、福島県立医科大学において、以下の検討を行います。

研究に用いる情報は匿名化されます。公立岩瀬病院の情報は、匿名化された上で、福島県立医科大学に提供されます。

・2016年1月から2021年8月に公立岩瀬病院で CT のヨード造影剤による副作用の報告がなされた症例を調べます。

・副作用が生じた方の中で造影前および造影後の腹部 CT が撮像されている方を選択します。

・ヨード造影剤注入造影前後の CT で小腸の肥厚が出現している方の数、発現した副作用の種類を調査し、造影前後で小腸の径の変化を測定します。

・副作用が生じた症例と同期間に腹部を含む造影前と造影後の CT が撮像され、副作用が生じなかった症例をコントロール群とし、同様に小腸の肥厚が出現している方の数を調査、小腸の径の変化を測定します。

・副作用の症状がでた方と出なかった方を比較し、小腸壁肥厚の割合、小腸壁の径の変化に統計的な差があるか検討します。

・また同時期に CT 用のヨード造影剤が原因でアナフィラキシーショックを起こした症例を公立岩瀬病院および福島県立医科大学附属病院両施設で検索し、小腸浮腫が見られた症例の割合を検討します。

【研究組織】

研究責任者

福島県立医科大学 放射線医学講座 伊藤 浩  
研究分担者  
福島県立医科大学 放射線医学講座 石井 士朗  
同 放射線医学講座 山國 遼

＜試料・情報の提供を行う機関＞

公立岩瀬病院 病院長 土屋貴男

【他の機関等への試料等の提供について】

提供はありません

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部放射線医学講座 担当 石井 士朗

電話:024-547-1334 FAX: 024-549-3789

E-mail:shirou@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部放射線医学講座 担当 石井 士朗

電話:024-547-1334 FAX: 024-549-3789

E-mail:shirou@fmu.ac.jp